

社内風景 2018

今から14年前の2004年3月に「野うさぎ」は創刊されました。創刊以来、2年にわたって「社内風景」というタイトルで弊社各部門の紹介記事を連載させていただきました。この度「社内風景 2018」と記事の名称をあらため、14年前から大きく様変わりした各事業所から最新の「今日の風景、今日のトピックス」記事をお届けしたいと思います。第一回は名古屋事業所からです。

中部日本デンタルショーに参加をして



過日開催されました「愛知県歯科医学大会 併設・中部日本デンタルショー」に参加をしました。日曜日でもあり、朝から大変混雑した大盛況のデンタルショーでした。

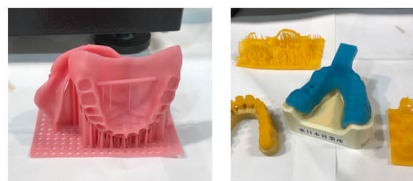
ここ数年の話題であるスキャナー・CAD/CAMシステムは今年も大きな目玉的な存在で、今後も歯科のデジタル化の更なる加速を感じました。

本当に多くのメーカーからの出品があったのですが、デンチャーへの活用にも目を向けているメーカーもあり、まだ認可が下りていない材料なども含めた紹介には、発展のスピードへの驚きと共に期待に溢れるものでした。



歯科技工業界に限った話ではありませんが、人材の不足また働き方改革への対応といった大きな問題の解決の手段としてデジタル化への考えや取り組みも歯科技工の技術と捉えていかなければならない、と改めて思う有意義な日となりました。

まだまだ機械を扱う側として未開発と考える部分はありますが、今後も積極的に情報の収集と勉強をしていきたいと思えます。



～番外編～

(一社)愛知県歯科技工士会ブースにて当社とも交流のある、いませ歯研の今瀬大輔氏(愛知県歯科技工士会 常務理事)と当社の小藤基晴(愛知県歯科技工士会 副会長)らの企画による講演も開催され、学びのある場となりました。

名古屋事業所 植西 均

岡崎駅前支店のご紹介



昨年12月に発足した岡崎駅前支店をあらためてご紹介させていただきたいと思えます。弊社が歯科技工所として創業した30年前からわたしたちを取り巻く社会環境は大きく変容しました。「創業30年」という節目を迎え、あらためて患者さま、お取引先さま、並びに地域の皆さま、全従業員、そしてすべてのステークホルダーの方々の幸せと発展のために成長を続けていくということは、いったいどういうことなのか?これからの10年、20年、30年先という将来を見据えた時にわたしたちには何ができるのか?ということをやから考え直しました。

その結果、わたしたち「コットンテール」を叱咤激励し育てて頂いたすべての皆様の愛情とご恩に報いるためにもこの30年間に培ってきた知識や経験を礎にして新たなチャレンジ行っていこう、という発想を原点にし、あらゆるビジネスの可能性にトライしていこうと考えました。その新しいアイデアの行動集団として「岡崎駅前支店」は発足しました。

今後は媒体関連、また食品や飲食など歯科や歯科技工業界とは一見関連性が薄そうではありながらも直結する新たなビジネスの大海原への航海に乗り出そうと考えております。

これからも皆様のご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

岡崎駅前支店長 藤原